



# 柳中便り

令和8年1月30日（金）

能登町立柳田中学校（第9号）

校訓「進取」「協調」「努力」

HPにもアップしています。QRコード



## 「当たり前のことを、丁寧に、まっすぐ続けていくこと」

新年明けましておめでとうございます。

冬休みを終えて、こうしてまた皆さんと顔を合わせられることを、本当にうれしく思います。元気な姿を見ると、「今年もきっと良い一年になるな」と、心が温かくなります。

2学期の終業式で、冬休みに大切にしてほしいことを3つお話ししました。1つ目は「健康と安全を大切にすること」。2つ目は「生活リズムを整えること」。3つ目は「やる気を持ち続けること」。短い冬休みでしたが、皆さんなりに意識して過ごしてくれたのではないかと思います。

今年は午（うま）年です。

昔から馬は、力強く前へ進む姿や、仲間と支え合って走る姿が親しまれてきました。坂道でも止まらず、しっかり踏ん張って進む馬の姿は、3学期を迎える皆さんにも重なります。3学期は1年間のまとめの時期であり、次の学年へ向けての大切な準備の時期です。ときには苦手なことに向き合う場面もあるでしょう。でも、馬のように一歩ずつ前へ進む気持ちを忘れずにいてほしいと思います。

また、馬は群れで走る動物です。皆さんも、友達やクラスの仲間と力を合わせながら、次の学年へ向かって進んでいってください。仲間がいるからこそ頑張れる、そんな瞬間がきっとあるはずです。

3年生の皆さん。受験が近づき、不安や緊張を感じている人もいるでしょう。でも、これまで積み重ねてきた努力は、必ず皆さんの背中を押してくれます。大切なのは、「自分を信じること」「最後まであきらめないこと」「体調を整えて当日を迎えること」この3つです。受験は「誰かとの勝負」ではなく、「自分自身との勝負」です。午年の力強さを胸に、最後まで前へ進み続けてください。

そして、柳田中学校のスローガン「凡事徹底」。当たり前のことを、丁寧に、まっすぐ続けていくこと。

これは、皆さんの学級目標の達成にもつながりますし、3学期をより良く過ごすための大切な土台になります。挨拶、時間を守る、授業に集中する、仲間を大切にする。こうした一つひとつの積み重ねが、皆さんの成長をしっかりと支えてくれます。

3学期は短いですが、とても大切な学期です。1年間の学びをしっかりとまとめ、次の学年へ、そして3年生はそれぞれの進路へ、自信を持って進んでいけるよう、今日からまた気持ちを新たに歩み始めましょう。

皆さんの3学期が、力強く、そして温かい実りに満ちたものになることを願って、始業式の言葉とします。

令和8年1月8日 校長 沖平 雄二郎

### 始業式・書初め大会の様子





## 1 年お魚調理体験 (1/19)



能登町食生活改善推進員さんのご指導のもと、アジを三枚におろし南蛮漬けをつくりました。

## 球技大会 (1/22)



生徒会執行部・委員会対抗のドッジボールとバスケットボールの試合を行いました。

## 3年卒業証書づくり

「皮剥ぎ」「塵取り」に続き、最後の工程「紙漉き」を行いました。証書の厚さを均等にするのがとても難しい「紙漉き」ですが、みわ会さんのご指導のもと、世界で1枚だけの自分の卒業証書をつくることができました。卒業式で校長先生から手渡されます。



### 2月・3月の行事予定

- 2月 2日(月) 生徒会委員会
- 6日(金) 2年立志式
- 12日(木) 3年期末テスト①
- 13日(金) 3年期末テスト②
- 1・2年社会科重要語句コンテスト
- 24日(火) 3年社会科重要語句コンテスト
- 1・2年PTA保護者会
- 3月 2日(月) 1・2年期末テスト①
- 3日(火) 1・2年期末テスト②
- 6日(金) 部活動お別れセレモニー
- 10日(火) 公立高校学力検査①
- 11日(水) 公立高校学力検査②
- 12日(木) 卒業式予行練習
- 13日(金) 卒業式
- 17日(火) 青山学院大学生によるスポーツ教室
- 18日(水) 公立高校合格発表
- 19日(木) 生徒会役員選挙
- 24日(火) 3学期終業式・修了式

祝  
卒業

～保護者の皆様へ～

- ① 2学期の保護者アンケート・体罰アンケートへのご協力ありがとうございました。学校生活等のアンケートの結果は次号でお知らせいたします。
- ② 卒業式は3月13日(金)10:00～です。  
3年生保護者の皆様には、後日ご案内いたします。

### 生成AIの利用について

中学生でも生成AIを簡単に利用できる環境が整ってきました。調べ学習の補助や発想を広げる道具として有効に活用できる一方、使い方を誤ると学習の質の低下や、著作権・個人情報の問題、不正行為につながるおそれがあります。

「能登町の教育分野における生成AIの活用に関するガイドライン」では、学習での活用において、**適切ではないもの**として次の事例が示されています。

- ◇各種コンクールの作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出する。
- ◇詩や俳句の創作、音楽・美術等表現鑑賞など、生徒の感性や独創性を発揮させたい場面や初発の感想を求める場面などで最初から安易に使わせる。
- ◇テーマに基づき調べる場面などで、教科書等の質の担保された教材を用いる前に安易に使わせる。

ご家庭でも使用する際の目的やルールを確認していただくとともに、「考えることは自分で行う」という姿勢を大切にす  
る指導をお願いいたします。